

平成 30 年度 第 3 回群馬支部評議会 概要報告（速報）

<b>開催日</b>	平成 30 年 11 月 19 日 月曜日 午前 10 時から
<b>開催場所</b>	群馬県公社総合ビル 4 階第 1 会議室
<b>出席者</b>	新井評議員、大矢評議員、岡部評議員、小暮評議員、齋藤評議員、坂本評議員、田子評議員、細野評議員（五十音順）
<b>議題</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. インセンティブ制度（シミュレーション）について</li> <li>2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度パイロット事業に係る採用の結果について</li> </ul> </li> </ol>
<b>議事概要 （主な意見等）</b>	<p>各議題につき事務局より資料に基づき説明。主な質疑・意見は以下の通り。</p> <p>○議題 1. インセンティブ制度（シミュレーション）について</p> <p>■資料 1: インセンティブ制度（シミュレーション）について</p> <p>〔学識経験者〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品使用割合が特に低い若年層と 70 歳以上へ使用促進に向けた方策を取って頂きたい。年齢が高くなってからのジェネリック医薬品使用率低下の状況は問題である。</li> </ul> <p>〔事業主代表者〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・費用面では特に実質的に響かないとジェネリック促進には繋がらないと感じる。一方で在庫の確保等の流通面の環境整備も必要かと思う。</li> </ul> <p>〔事務局〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品使用率の低い若年層には、保険者協議会を通じて、教育委員会を巻き込んだアプローチを展開しております。また、使用割合が低い保険薬局について直接訪問による使用促進に向けた啓発事業を実施しております。</li> </ul> <p>〔被保険者代表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インセンティブ獲得に当たりポスターやチラシ等の広報について工夫が必要。</li> </ul> <p>〔学識経験者〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポピュレーションアプローチではないが、平均でどれだけ変わるか、頑張った分どれだけ変化があるかを見える化することで、モチベーションが上がり、行動変容にも繋がる。ただし、あまり声高に「差」について強調すると逆効果もあり得る。</li> </ul> <p>〔事務局〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加入者に対し医療保険制度等の認知に関する調査を実施しております。平成 29 年度の調査ですが、やはりインセンティブ制度に関する認知は各項目 5%にも満たない極めて低い認知率でした。わかりやすく、説得力かつ効果的な広報をしていく</li> </ul>

という点で、群馬支部では健康保険委員に対して独自に理解度調査を実施いたしまして、現在集計中でございます。結果をもとに、理解度が低い項目（弱点）について強化をしていくことで、広報の充実をはかってまいります。

〔学識経験者〕

- ・群馬県独自の重症化予防プログラムの設定基準はあるか。

〔事務局〕

- ・今年度より策定の検討会議を行っておりまして、最終的なプログラムについては、ほぼ確定の段階です。最終的に委員の意見を集約し各保険者が実施する予定です。

〔被保険者代表〕

- ・せっかく健診を受けて、健診データを提供しても、健診の項目（空腹時血糖）が違う等によって、そのデータが使えないのは勿体ない。受診率向上、データの取得向上にも影響するのではないか。

〔事務局〕

- ・健診受診率向上の為、第3期特定健康診査等実施計画で変更となっており、「随時血糖（食後3.5時間以上経過後に限）」も追加されております。また、事業者健診データ取得には同意書の取得が必須であり、なかなかご理解頂けない事業主の方も多いのが現状です。未受診者が多い事業所については、個別にアプローチをしてデータの取得率向上に努めております。

## ○議題2. 報告事項

### ■資料2：平成31年度パイロット事業に係る採用の結果について

〔学識経験者〕

- ・活動量計を使用した加入者の運動習慣調査については低予算で、支部単独でも実施可能かと思うがいかがか。

〔事務局〕

- ・本事業は経年調査が必要であり、調査対象者数が効果測定の上での課題となっております。本部の採用はありませんでしたが、健康経営事業と併せて、群馬支部独自として実施するという事も検討中です。

## 特記事項

- ・平成30年度第3回群馬支部評議会傍聴者 なし
- ・平成30年度第4回群馬支部評議会は平成30年12月に開催予定